

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 3 月 31 日

事業所名 キッズ・レインボー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1.0	0.0	洋室、和室、屋外スペースをフル活用し、個別対応は事務室も使っている	身体活動が十分できるよう、毎週1回市民プラザや体育館等の広いスペースを利用し、エアロビ等を実施
	2	職員の配置数は適切である	1.0	0.0	可能な限り多様な職種を配置するように配慮している	安定した配置数を維持するため、勤務シフトにも最大限留意している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0.6	0.4	建築関係経験職員を中心にバリアフリーと安全の観点から改善を図っている	発達障がいの特性を踏まえ、事業所全体の安全性に配慮し、視覚支援と構造化の工夫をしている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	0.8	0.2	毎日の朝礼と終礼後の打ち合わせで、業務改善を積み上げている	大きな課題等は職員会議で協議して実行に移し、支援プログラムは実態の変化に応じて絶えず改善するように努めている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0.9	0.1	毎年アンケートを実施し、面談や保護者会、家庭訪問などいろいろな機会に意向の把握に努力している	小中学校や支援学校との連携や関係機関との情報共有を通して、広く意向把握に努める
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1.0	0.0	評価結果を門真市手をつなぐ育成会のホームページで公開	保護者の意向をより広く反映できるよう工夫することが必要
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0.7	0.3	大阪府の研修や関係機関の支援を受け、業務改善に活かしている	年々実務処理に要する時間が大きくなるので当面、効率的に事務処理を行うことを検討する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	0.8	0.2	大阪府や門真市の研修を順次受講し、伝達講習にも努めている	自主研修のため、DVD、ユーチューブなども活用し、心理・福祉・教育の基礎・基本の理解に努めている
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	0.9	0.1	専門機関のアセスメントをご家庭から情報提供を受け支援計画に反映している	WISC.新版K式等の評価結果のないご家庭は聞き取り、行動観察、発達検査などにより支援計画を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0.9	0.1	標準化されたアセスメントツールは、ご家庭から情報提供を受け活用している	K-ABCなどの専門的データはご家庭及び専門機関のデータをいただき、必要に応じてS-M社会生活能力検査、人物画などを使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1.0	0.0	管理責任者と支援員の意見を交え協議して作成している	利用者の実態の変化に応じた活動プログラムを絶えず意識して改善を図ることに努めている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1.0	0.0	お出かけ、調理、買い物、アロビ、おもちゃ図書館など多様な活動を実施	自立に向け多様な社会経験ができるよう多様なプログラムの実践に努めている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1.0	0.0	コロナ感染症制約の中可能な限りきめ細かく支援に努めている	手洗い、マスク着用などの習慣化、三密や大声を避ける等基本的な支援に力を入れている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1.0	0.0	三密を避けることに注力し、個別と集団の組み合わせに配慮して計画を作成	個別活動については、他の事業所での活動も考慮してきめ細かく配慮する

の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	0.9	0.1	毎日の朝礼で送迎配車、担当者、支援プログラムと役割分担などを文書で示し確認している	POCAサイクルを基本として重視し、もれがない安全安心な体制に配慮している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0.9	0.1	終礼時に一日を振り返り業務日誌に反映し、改善への手がかりとしている	自由に話せる職場の雰囲気づくりに配慮
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	1.0	0.0	サービス提供記録票を個別カルテに集積し、支援の改善につなげている	業務日誌に指摘された事項はフリートキングで課題を明確にして検証し改善の手立てとしている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	1.0	0.0	個別に定期的に実施し、必要に応じて柔軟に対応している	成長発達の状況や家庭環境等の変化に対応して柔軟に対応するため、関係機関との連携を一層深める
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	1.0	0.0	基本活動を組み合わせ、家族支援を大切にしている	相談支援センターの情報を活用し、複数事業所利用者は事業所の役割分担にも配慮している
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1.0	0.0	内容に最も適した職員が参画し他の事業所の担当者との情報交換で連携強化を図っている	いろいろな機会を通じて関係機関の担当者間とのより深い連携と情報交換が課題である
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1.0	0.0	学校との連絡調整と情報共有により、迅速な対応に努めている	学校およびご家庭の協力を得て、関係機関との連絡調整を積極的に行い、もれがないように万全を期す
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			該当者はありません	該当者はありません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0.9	0.1	双方が連絡を密にして情報共有している	移行期の支援については関係機関との連携に配慮します
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1.0	0.0	今年度末支援学校高等部卒業予定者があり、進路先への情報提供を行う予定	情報提供のための資料整備等に努める
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1.0	0.0	大阪府等関係機関の研修会に担当者が参加し、助言と情報提供を受けている	利用者の居住地が複数の市にあるため、連携のための時間的制約があり、改善策の検討が課題である
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1.0	0.0	小学校との交流行事、市民プラザ(図書館、卓球場)の利用を通じ交流の機会を設けている	希望者には門真市手をつなぐ育成会の親子体験行事などへの参加を認めている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1.0	0.0	理事長・所長が市の各種協議会等に参画し、意見反映と情報収集の機会となっている	大阪府の手をつなぐ育成会役員として、府全体の動向や情報を得ると共に、研修講師として障がいを取り巻く現状と課題等について報告する機会を活用している
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	1.0	0.0	日常的に情報交換し「保護者のつどい」で保護者間の交流にも努めている	活動場面の映像を「保護者のつどい」で話題提供し、共通理解と意見交換の場としている	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1.0	0.0	家族支援、特にペアレント・トレーニングの視点を重視している	ファシリテーターを中心に保護者支援を行い、必要に応じて関係機関の研修の情報提供も行っている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1.0	0.0	契約当初に詳しく説明すると共に、状況の変化に応じて説明を行っている	現行の規定の中で、改定を要する内容がないか検討する
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	1.0	0.0	相談経験者や療育経験者が公認心理師と協力して支援を行っている	大阪府及び全国組織と連携した親の会などの情報を得ながら、助言や相談などの支援をさらに充実する
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1.0	0.0	「保護者のつどい」や育成会行事などを通じて、保護者同士の交流を支援している	育成会会員と同じように相談などの支援をする方針である
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	1.0	0.0	法令等の定めにも則り、苦情解決担当者等を定めて対応している	苦情があれば迅速に対応するとともに、苦情が起こる前に対応できるよう、職員間で報告・連絡・相談体制をとっている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1.0	0.0	会報、HP等で発信し、育成会と連携して、「合理的配慮」への理解啓発活動に協力している	今後も情報提供を積極的発信し連携に努めます
	35	個人情報に十分注意している	1.0	0.0	大阪府個人情報保護条例や法人の規定に則り、十分注意している	定期的に保護条例、職員行動指針を再確認し、注意を喚起する
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	1.0	0.0	「視覚支援」や「ユニバーサルデザイン」等に配慮している	利用者・保護者とのコミュニケーションを大切に、今後も支援の充実を図る
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	0.9	0.1	地域の行事に積極的に参加している	法人本部と連携し、地域住民とも連携を図り、長期休暇中はボランティア体験の受け入れも行っている
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0.9	0.1	防災・防犯、発作、誤嚥、緊急蘇生法等のマニュアルを策定し周知している	定期的に確認・見直しを行っているが、実技講習と保護者への周知が課題である
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1.0	0.0	避難訓練を実施した	今後も市の「防災対策マニュアル」に則り、指定された避難場所への避難訓練などを定期的に実施する
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1.0	0.0	大阪府や育成会本部の研修受講と伝達講習を実施している	人権及び権利擁護に関する意識の向上を図るよう、研修の機会を活用する
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1.0	0.0	身体拘束は行わないことを徹底している。(送迎車内のシートベルトは完全にできている)	保護者との連携を図り、法の趣旨の共通理解を深めていきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1.0	0.0	果物アレルギーの1名は、ご家庭の協力を得て対応している	該当者が出た場合は必要に応じて、医師の指示書とマニュアルに従って対応します
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1.0	0.0	事業所内で共有すると共に、保護者会でも報告している	未然防止に最大の注意を払い、事例を文書化して記録に残す	